

科目コード	N12405	科目名	公衆衛生看護学 アセスメント展開				
履修区分	選択	開講期	2年後期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	中谷久恵						
授業の概要	地域の人々の生活と健康をアセスメントする方法論の実践を通して、健康課題に関連づけた保健活動の展開過程を学修する。						
DPとの関連	平和を希求する姿勢を身につける						
	豊かな教養を身につける						
	高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける						
	看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける						
	地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける						
	自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける						
	多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける						
	社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける						
	異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける						
DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）=卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	1.地域アセスメントの実践が説明できる。 2.事例を通して地域の顕在的・潜在的健康課題に気づき施策化・事業化との関連性が説明できる。 3.PDCAサイクルの中に位置づけて説明できる。						
履修上の注意事項	20分以上の遅刻・退席は欠席扱いとします。オンライン講義に関する出席は教員の指示に従ってください。 授業内での成果物・レポートの提出期日は厳守してください。指定した期限を過ぎた場合は評価の対象としません。 教員から連絡を受けた場合は、必ず返事を返してください。 *講義順序を変更する場合があります。その際は、事前にお知らせします。 事前学習：授業毎にシラバスのテーマに沿った内容を調べる。（1.0h） 事後学習：ノート等を見返し、配布資料、教科書や参考資料と照らして理解を深める。（1.0h）						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	家族支援におけるアセスメント 理論 ジェノグラム、エコマップ、発達理論【中谷久恵】				テキストの事前学習（60分）・復習（60分）	
	2	家族支援におけるアセスメント 理論 システム理論【中谷久恵】				テキスト事前学習（60分）・復習（60分）	
	3	家族アセスメントの実際 家庭訪問事例【中谷久恵】				事例に基づいた個人ワーク（60分）・リフレクション（60分）	
	4	家族アセスメントの実際 家庭訪問事例【中谷久恵】				事例に基づいた個人ワーク（60分）・リフレクション（60分）	
	5	家族アセスメントの実際 アセスメントと家族支援計画の発表【中谷久恵】				事例に基づいた個人ワーク（60分）・リフレクション（60分）	
	6	地域アセスメントの展開 地区診断の方法【中谷久恵】				事例に基づいた個人ワーク（60分）・リフレクション（60分）	
	7	地域アセスメントの展開 既存資料の分析【中谷久恵】				事例に基づいた個人ワーク（60分）・リフレクション（60分）	
	8	地域アセスメントの展開 地区踏査・フィールドワーク【中谷久恵】				事例に基づいた個人ワーク（60分）・リフレクション（60分）	
	9	地域アセスメントの展開 地区踏査・フィールドワーク【中谷久恵】				事例に基づいた個人ワーク（60分）・リフレクション（60分）	
	10	地域アセスメントの展開 地域診断による健康課題の明確化【中谷久恵】				事例に基づいた個人ワーク（60分）・リフレクション（60分）	
	11	地域アセスメントの展開 発表資料の作成【中谷久恵】				事例に基づいた個人ワーク（60分）・リフレクション（60分）	
	12	地域アセスメントの展開 発表【中谷久恵】				事例に基づいた個人ワーク（60分）・リフレクション（60分）	
	13	地域アセスメントに基づく健康課題の施策化・事業化 保健計画の作成【中谷久恵】				事例に基づいた個人ワーク（60分）・リフレクション（60分）	
	14	地域アセスメントに基づく健康課題の施策化・事業化 発表資料の作成【中谷久恵】				発表準備（60分）・・・リフレクション（60分）	
15	地域アセスメントに基づく健康課題の施策化・事業化 まとめ【中谷久恵】				事前学習：テキストの該当箇所を予習する（60分） 事後学習：配布資料やテキストを使用した講義内容の整理（60分）		
成績評価方法	授業内で提出した成果物と発表および課題レポート（100%）で評価を行う。 講義の進行状況によっては割合を変更することがあります。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	標準保健師講座1公衆衛生看護学概論、標美奈子他（医学書院）					978-4-260-04707-4	
	標準保健師講座2公衆衛生看護技術、中村裕美子他（医学書院）					978-4-260-05002-9	
参考書	公衆衛生看護学.jp、荒賀直子編（インターメディカル）					978-4-900828-85-8	
	家族看護学 理論と実践、鈴木和子編（日本看護協会出版会）					978-4-8180-2208-9	
	コミュニティアズパートナー 第2版 地域看護学の理論と実際（医学書院）					978-4-260-00326-1	
教員からのメッセージ	個人ワークおよびグループワークに積極的に取り組み、地域アセスメント能力を高めてください。						
教員との連絡方法	c-learningを利用してください。						
実務経験のある教員	保健師として実務経験がある教員が授業を担当します。						